

## ○細入地域上下水道事業に関するタウンミーティング議事録

日 時：令和7年8月23日（土）

午後2時～3時30分

場 所：細入公民館

出席者：31人

### 【上下水道事業管理者からの説明】

#### 【意見交換会】

・内部留保資金についてですが、水道事業では25億円、下水道事業では45億円を常時確保できるように、その都度料金改定を行うということでしょうか。

（上下水道事業管理者）

内部留保資金は、将来の施設の更新に必要な資金のほか、日々の事業運営に必要な運転資金という2つの側面があります。

大規模な災害発生時には料金収入が得られなくなることを想定し、仮に料金や使用料収入が2カ月間入らなかった場合でも資金ショートが発生しないよう、常時この程度の資金を確保することが必要と考えています。

・水道事業で、宮城県の自治体で外資が入ってきたところがあるそうですが、富山市はどうなんですか。

（上下水道事業管理者）

富山市では、下水道の維持管理を今は直営や業務委託で行っていますが、令和9年度から一部の管路について民間で維持管理する手法を導入予定です。

水道事業については、今後も直営を基本として運営していく考えです。

・安定した水道水の供給の点から、細入地域の水道本管で何かあった場合の対応として、現在利用している下夕地区からの水を利用することは考えていますか。

(東上下水道サービスセンター所長)

今年度で完了する予定の大沢野地域の水源で取水した水道水を楡原地区まで送水する事業では、新たに耐震管路を敷設することから安心していただけるものと考えています。

なお、これに伴い、これまで使用していた下夕地区から供給していた水は、予備水源としての活用などを今後検討してまいりたいと考えています。

・富山市はニューヨーク・タイムズの「2025年に行くべき52か所」に選ばれたので、もっと「とやまの水」をPRしてはどうか。

(上下水道局事業管理者)

今年は、富山市の水道水が安全でおいしいということをPRするための新しいデザインポスターとキャッチコピーを募集し、デザインポスターは5点、キャッチコピーは160点応募がありました。最優秀作品は来週の8月28日に発表します。

今後は、このデザインポスターやキャッチコピーを活用しながら、富山市の水道水をいろいろなイベントなどでPRしていきたいと考えています。

※発言の一部を整理して掲載しています。(上下水道局経営管理課)